



市之倉だより

多治見市立 市之倉小学校 令和6年7月
〒507-0814 多治見市市之倉町 10-381
TEL 0572-22-3702 ホームページ <http://school.city.tajimi.lg.jp/ichinokura/>

例年では梅雨入りの時期となりましたが、日差しがまぶしい日々が続き毎日子ども達の元気な姿であふれています。そんな子供たちが頑張る姿や学校の様子をできる限りHPにアップしています。お時間があるときにご覧ください。

児童と家庭、地域の皆さん、学校職員の笑顔があふれる市之倉小学校となることを願っています。

「いちのくら体育参観」を振り返って

校長

5月25日（土）に開催されました「いちのくら体育参観」。当日に向けて限られた時間の中でどれだけのことができるのか、楽しみであり不安でもありました。果たして子供たちは満足のいく時間を過ごせるのだろうか、見守る保護者の方や教職員はどんな印象を受けるのだろうか、と。

結果は、ご覧いただいたように非常に感動的な素晴らしいものになりました。どの学年のどの子も全力で精いっぱい走り、踊り、そしてひとつのかたまりとして一致団結している姿を見せてくれました。そこでその要因を考えてみました。

一つ目は、「あこがれ」があったということがあると思います。特に5、6年生が披露した「ソーラン」では終わった瞬間から低中学年の子から口々に「かっこよかった〜!」「やってみたい」と出ていました。例年このように上級生が素晴らしい姿を下級生に披露し続けていることが、「前年と同じ様に。さらに上回るものを」と無意識に駆り立てているんでしょう。事前に心の準備ができているからこそ限られた時間の中で自分たちが満足できるレベルまで完成させることができるのだと思います。



二つ目は、「縦のつながり」があることだと思います。日頃よりHPなどでもお伝えしていますが、日常的に6年生の子は1年生の子と本当に仲良く遊んでいます。また1年生から6年生までの「チーム」と呼ばれる集団で毎日掃除時間を過ごし、定期的に遊ぶ時間があります。そんなつながりを受け、本番に至るところで見られた他学年への精いっぱいの応援の姿につながり、全校の団結を感じさせ、その姿に心を打たれたのではないのでしょうか。

今回のいちのくら体育参観の取り組みを通して、全力でできた自分自身を認めたり、仲間と一緒に頑張ってお互いに認め合ったりすることも、子供たちの心を大きく成長させてくれたと感じています。

5月に作り上げることができたこの成果を大切にして、これから様々な出来事を積み上げて、より「楽しい」と思える学校であるよう子供たちを支えていきたいと考えています。

なお、終了後には参観に来てくださった方々のご協力のおかげであっという間に片づけが完了しました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。